

2022 年 7 月 22 日 内閣総理大臣 岸田 文雄 殿

安倍晋三元首相の「国葬」の決定に強く抗議し反対します

日本キリスト教婦人矯風会は、平和憲法の理念に立ち、平和と核廃絶を訴え、女性と子どもが安心して生きられる社会の実現を目指して活動している団体です。

私達は、安倍晋三元首相が参院選の応援演説中に襲撃されたことに大きな衝撃を受け不慮の死をこころから悼みます。岸田文雄首相は、直ちに「国葬」を閣議決定すると公表しましたが国会を経ずして閣議決定することは全ての国民の納得を得るものではありません。

国家が一個人の死に特別な意味付けをすることで、私たちの内心の自由が侵されることを危惧します。

岸田文雄首相は「わが国は暴力に屈せず、民主主義を断固として守り抜く決意を示す」と強調していますが、安倍晋三元首相の葬儀を「国葬」にすることによって民主主義を守りぬく決意表明には違和感を覚えます。むしろ、安倍晋三元首相は、民主主義を空洞化し、日本を戦争ができる国へと転換し、立憲政治に危機を招きました。

安倍政権下で国民を重要な情報から遠ざける特定秘密保護法や集団的自衛権の行使を容認する安全保障関連法が強行採決され、防衛装備移転三原則が閣議決定されました。森友学園、加計学園、桜を見る会を巡る問題で国会での嘘の答弁は 118 回。最後まで説明責任を果たしていません。数々の政治の私物化が人々に記憶されているのです。

安倍晋三元首相の「国葬」に多額の税金が支出されることも容認できません。

日本キリスト教婦人矯風会は、安倍晋三元首相の「国葬」決定に強く抗議し反対します。

公益財団法人日本キリスト教婦人矯風会